

調査コラム～史料調査の現場から 第 22 回

松江城・史料調査課だより（第 1 回）

「松江城国宝化推進室から職員のみなさまにお知らせします。本日、国の文化審議会において、松江城天守を国宝に指定する答申がありました…」

あの日からもう 7 年もたつんですね。

こんにちは。松江城調査研究室あらため、松江城・史料調査課の佐藤です。年度が変わり課名が新しくなりました。これからは「松江城・史料調査課だより」として再スタートです。今後ともよろしくおねがいいたします。

さて、冒頭の言葉は、ちょうどいまから 7 年前の 5 月 15 日の終業時に、市役所内に流れた放送の一部です。それは、長いあいだ松江市の悲願であった「松江城天守」の国宝指定が確定した瞬間でもありました。

今回は、あらためて松江城天守の国宝指定への長いみちのりについてお話ししようと思います。

いま日本のお城で、天守が造られた当時のままで残っているものはいくつあるでしょうか？

答えは 12。いわゆる「現存 12 天守」ですね。まずはご紹介しましょう。

弘前城（青森県）、松本城（長野県）、丸岡城（福井県）、犬山城（愛知県）、彦根城（滋賀県）、姫路城（兵庫県）、松江城（島根県）、

備中松山城（岡山県）、丸亀城（香川県）、松山城（愛媛県）、宇和島城（愛媛県）、高知城（高知県）

です。そのうち国宝になっているものは、姫路城、彦根城、松本城、犬山城、そして松江城の 5 城です。あとの 7 城はどれも重要文化財に指定されています。

松江城以外の 4 城は、昭和 26 年（1951）、27 年（1952）のあいだに「文化財保護法」のもとで国宝に指定されています。ここでひとつの疑問が。なぜ松江城はそのとき一緒に国宝指定されなかったのでしょうか。

もともと松江城天守は「国宝保存法」のもとで昭和 10 年（1935）に国宝指定されていたのですが、昭和 25 年（1950）に制定された「文化財保護法」のもと重要文化財に指定されます。松江城は、ちょうどそのとき昭和 25 年（1950）から 30 年（1955）にかけて行われた「昭和の大修理」の最中でした。当時、その大修理に関わられた大工の持田武夫さんによると、松江城も修理が終わったら国宝に指定されるだろう、と話をしていた記憶があるそうです。その後、昭和 26 年（1951）から、松江市は折にふれ国に松江城天守の国宝指定を陳情します。けれどもなかなか簡単にはいきません。



【写真 1】解体修理後、覆屋が取り除かれる松江城天守（昭和 29 年）、松江歴史館蔵

それから長い年月がたちました。

平成 19 年（2007）4 月、堀尾氏が松江の地に城を築城してから 400 年を記念して「松江開府 400 年祭」が始まります。松江開府 400 年祭の開幕は、市民の中で、地域の宝を再認識する動きとなって、松江城天守の国宝指定にむけても大きなうねりとなっていきました。その中の事業のひとつとして「松江城国宝化」運動の推進が表明されました。

同時に市民のみなさんから、「松江城を国宝にする市民の会」が立ち上げられ、松江城国宝化の機運が徐々に高まります。そして平成 22 年（2010）、松江市は、観光振興部に「松江城国宝化推進室」を設置。同年 7 月に神奈川大学の西和夫名誉教授を委員長とする松江城調査研究委員会を立ち上げました。

そしてひとつの転機が訪れます。

平成 22 年 10 月 6 日、松江城天守を国宝にするべく集めた 128,044 人分の署名をもって、文化庁へ陳情に行ったのです。結果はというと、署名の提出で国宝になるはずもなく、文化庁からは「学術調査による新しい知見が必要」という従来の一貫した回答があるのみでした。

そこからは地道な調査研究ひとすじ。そしてひとつひとつ成果が積みあがっていきました。



そして平成 24 年（2012）5 月。松江市史料編纂室の調査の結果、松江城内にある松江神社から 2 枚の祈祷札が見つかります。この 2 枚の祈祷札は果たして長らく行方不明になっていた松江城天守の祈祷札なのか？ それとも別のもののなのか？

【写真 2】松江神社調査で見つかった 2 枚の祈祷札、松江市蔵

…まだまだ話は尽きないところですが、今回はここまで。

つづきは松江市が発刊しております [「松江城天守国宝指定記録集：松江城天守国宝へのみち」](#) でお楽しみください。いまだから話せる裏話が満載の一冊ですよ！

「松江城国宝化推進室から職員みなさまにお知らせします…」

…館内放送が終わったと思ったらひっきりなしにかかってくる電話！

庁舎内を行き来すると、行き交う人から「おめでとう！本当によかったねえ」と声をかけられ、なんとも言えないうれしさがじんわりこみ上げる。

そのとき頭に浮かんだのは、以前見た、青空のもと堂々と立つ松江城天守の姿。

あらためてお城に行ってみようかな…

窓の向こうは雲ひとつない5月の青い空。

（松江城史料調査課／佐藤綾子／2022年6月10日記）